

工業俱楽部

KAGOSHIMA INDUSTRIAL CLUB

■発行:(公社)鹿児島県工業俱楽部 ■企画・編集:総務・広報委員会 〒892-0821 鹿児島市名山町9-1県産業会館内
TEL099-225-8012 FAX099-225-8020 <http://www.ikic.or.jp> E-mail:info@ikic.or.jp

57
2016年2月

新年号



平成28年 公益社団法人
鹿児島県工業俱楽部新年大会
事務局からのお知らせ(トピックス)
新会員情報
若手経営者・後継者紹介

平成
28年

公益社団法人

鹿児島県工業倶楽部

新年大会

◆日時 / 平成28年1月19日(火) ◆会場 / 城山観光ホテル(ロイヤルガーデン)

平成28年1月19日(火)、城山観光ホテル(ロイヤルガーデン)において、多数の来賓ご臨席のもと、平成28年新年大会が開催されました。恒例の講演会には、日高東亜国際特許事務所長の日高賢治氏と尚古集成館副館長の松尾千歳氏をお迎えし、新年にふさわしい演題で実施されました。



皆様新年あけましておめでとうございます。今年は、お正月まではずいぶん暖冬でしたが、ここにきて一転寒くなりました。1月20日は大寒でございます。この寒さのなかご出でいただきありがとうございます。

新年あけまして、穏やかに年が始まるよかったです。今年は年初から、テロ、イラン・サウジアラビア、核実験、中国の減速、といろんなことが起こっており波乱の年開けになっています。

世界経済の現状に目を向けてみたいと思いますが、石炭や金属・肥料といった原材料を運ぶ外航船の運賃の指標に、1985年を1,000とするバルチック海運指数があります。足元のバルチック海運指数は大変劇的な動きをみせております。昨年からは一貫して下げていたんですが、今年の1月13日、1985年の集計開始以来はじめて400を割り込みました。2010年のバルチック海運指数は4,000でございましたので、ピークから比べると十分の一になります。少なくとも過去30年間どの時点よりも安い運賃になっています。バルチック海運指数が激減しているということは、



ただいまご紹介をいただきました鹿児島大学長の前田でございます。

鹿児島県工業倶楽部様におかれましては、平成3年4月の法人設立から25年間、県内の産業振興と地域経済の発展に大変貢献してこられました。その実績に敬意を表し、盛大な新

世界経済が文字通り凍りついていることなんだろうと思っています。

先ほど中国の減速ということを言いましたが、中国の新聞によると、中国の製造業に従事している従業員の7割が給料がもらえていないという現状です。2008年にリーマンショックがございましたが、どうでしょうか、これからリーマンを超えるようなことがおこると私は考えていますが、皆さんのご判断はいかがでしょうか。

仮にこれからリーマンを超えるというようなことがおきると大変なことですけれども、ピンチはチャンスですので、事前にそういうことが予想できるなら、皆さんの方でもいろいろ手を打たれたら、ピンチをチャンスにできるのではないかでしょうか。

本日は日高東亜国際特許事務所長の日高賢治さまに中国経済の行方とチャイナリスクへの対応ということで、どちらかというと知財を中心にお話いたします。それから尚古集成館副館長の松尾千歳さまに、世界遺産登録 近代日本のものづくりの原点 集成館事業の話をさせていただきます。薩摩の集成館事業の特徴は、その段階では、お抱え外国人なし、薩摩の人だけでやったというところに特徴がございます。それから次に、九州経済産業局産業技術調整官の樋口一郎さまに、来年度中小企業振興関係補助事業の説明をしていただきます。

先ほど、1月20日が大寒だと申し上げましたが、その後の節季は2月4日の立春です。経済自体は大変大荒れですが、皆様の企業が立春を契機によくなることを祈念したいと思います。ありがとうございました。

年大会が執り行われますことをお慶び申し上げます。

鹿児島県工業倶楽部様と鹿児島大学の協力関係は深く、皆様方には鹿児島大学の人材育成や研究活動、更に社会貢献活動に多大なご支援をいただいております。心から御礼申し上げたいと思います。平成17年に包括連携協定を締結してから、産学交流企画の実施と学生支援で連携を深めていることに深く感謝申し上げます。毎年、工業倶楽部様と鹿児島大学と共に開催します「食と健康に関するシンポジウム」は、すでに5回になりました。これは本学の重点領域研究であります「食と健康プロジェクト」の事業でもあり、産業界でご活躍の方と共に本学の教員も成果を共有させていただく貴重な場となっております。お陰様で例年200名をこえる市民の皆様にご参加いただき、好評を博しております。

また学生支援においては、優秀な研究業績を挙げた大学院生に授与される「鹿児島大学工業俱楽部賞」が、学生への大きな励みとなっております。

本学は本年度、文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に採択されました。この事業は地方公共団体や企業等と協働して、地域が求める人材を養成する教育プログラムを推進するものです。本学は事業協働機関である県内7つの大学・短大・高専と共に、鹿児島県や工業俱楽部様をはじめとする経済団体等と連携して、オール鹿児島で事業に取り組みます。グローバルな視点と地域志向マインドを持つ学生を育て、地元就職率を向上させる教育制度や仕組み作りにまい進したいと考えております。本事業に工業俱楽部の皆さまのご助言やご支援は不可欠ですので、これまで以上のご理解とご協力のほどを何卒よろしくお願ひいたします。

鹿児島大学には「食と健康」をはじめ、「島しょ」「環境」「水」「エネルギー」の5つの重点領域研究があり、全学横断のプロジェクトとしまして企業や地域とも連携して活動を進めてまいります。また、28年度からスタートいたします第3期中期目標・中期計画における基本目標といしましては、「南九州および南西諸島の活性化



の中核拠点」を目指しております。進取の気風にあふれる総合大学として今後一層大学の研究・教育や知的資源を地域の発展に結びつけることで、鹿児島県の活性化に尽力していきたいと考えております。共同研究や講演会等のご依頼、様々なご相談や分析機器のご利用など、鹿児島大学にどうぞお気軽においでいただいてご活用いただければと思います。

最後になりましたが、工業俱楽部様と本学とのさらなる連携と、会員企業の皆様のさらなるご発展を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

本日はありがとうございました。



本日、公益社団法人鹿児島県工業俱楽部の新年大会が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

工業俱楽部会員の皆様をはじめ、本日御出席の皆様には、日ごろから県勢の発展に多大な御支援・御協力をいただきしておりますことに対して、深く感謝を申し上げます。

さて、最近の我が国経済は、ゆるやかな回復基調が続いているものの、先行きにつきましては、世界情勢の様々な動きがあり、中国をはじめとするアジア新興国等の経済の動向によっては、景気が下振れするリスクが懸念されているところです。県内経済につきましても、景気は緩やかに回復されつつあるとされておりますが、今後の世界経済の動向も気がかりなところであります。

ただ、いずれにいたしましても、本県の産業振興を図っていく上で、本県の地域特性を活かした産業の創出と展開、あるいはイノベーションへのたゆまぬ努力など、取り組むべき方向性というものは、基本的に変わることはないと考えているところであります。

本県では中長期的なビジョンの中において、「新時代に対応した戦略的な産業おこし」を県政の柱の一つに位置付けており、創業や新たな分野への進出を目指す県内企業に対し、研究開発から販路拡大、設備投資等に対する一貫した支援を実施しているほか、本県産業振興の重点業種である食品関連産業の振興を図るため、総合的な支援プロジェクトを実施しているところであります。製造業の振興につきましては、今後とも、皆様方が日頃から取り組んでおられる活動や実践を通じた貴重な御意見を参考にしながら

ら、本県の産業施策に反映させていきたいと考えておりますので、皆様の御協力をお願い申し上げます。

また、国が掲げる「一億総活躍社会」に向けて、今後地方が活性化するためには、既存の枠組みにとらわれない取り組みも必要になってくるのではないかと思われます。

そのためにも、この工業俱楽部のような異業種の企業の皆様方が交流できる場が非常に貴重であると考えております。

今後とも、工業俱楽部の活動を盛り上げていただき、自らの企業経営に活かしていかれますことを期待申し上げます。

最後になりますが、鹿児島県工業俱楽部の今後ますますの御発展と、本日御出席の皆様の御健勝、御活躍を祈念しまして、あいさつといたします。

新年大会講演会

特別講演



講師

日高東亜国際特許事務所
所長 日高 賢治氏

演題

「中国経済の行方と
チャイナリスクへの対応」

記念講演



講師

尚古集成館
副館長 松尾 千歳氏

演題

「集成館事業について」

新会員情報

会員名

有限会社 美光社

所属・役職

代表取締役 石室屋 光昭



- 住 所 〒890-0005 鹿児島市下伊敷2-7-12
- T E L 099-218-3400
- F A X 099-218-3399

E-mail : info@bikohsya.co.jp
URL http://www.bikohsya.co.jp

当社は1992年6月に城山団地交差点近くで美光社として営業を開始。1997年6月に有限会社 美光社として法人設立し1999年11月に下伊敷へ移転、現在に至って23年目に入りました。

今年の3月で長年顧客の取引柱であった青写真(青焼き)が完全に終了する中、図面のデータ化やポスター出力、看板制作などをはじめレーザー彫刻やオリジナルTシャツ・マグカップなどオンデマンドを駆使した業務の取組をしております。7年前からパソコンを含むネットワーク環境、モバイル監視カメラシステム・ビジネス電話システムを含んだ介護システムなどトータル的なサービスを提供しております。地域のための社会貢献活動はもとより、各団体活動をしながら取引先から喜んでもらえる会社に成長出来る様、複写業を柱に年々事業内容を拡大してまいります。どうぞ、よろしくお願ひ致します。

会員名

株式会社 ドクターナチュレ

所属・役職

代表取締役 又野佳洋子



- 住 所 〒892-0828 鹿児島市金生町7-6
- T E L 0995-73-8333
- F A X 0995-73-8334

当社は《人と自然に優しい》をコンセプトとして自然由来にこだわる化粧品・医薬部外品の開発と製造受託を業としながら開発者の育成を行っています。

自然の宝庫である鹿児島を拠点とし、目まぐるしく進化する化粧品業界の情報や技術・設備を素早くキャッチし、ご依頼いただいたお客様のニーズにお応えすると共に、探求と技術力を活かした品質作りを継続し、国内外に発信します。

会員名

寺師 勉



- 住 所 〒891-0175 鹿児島市桜ヶ丘3-4-12
- T E L 099-275-2855

平成25年度から26年度の2年間、工業俱楽部事務局長として勤務させていただきました。会員の皆さんには色々な面でご指導・ご協力を賜り大変お世話になりました。ありがとうございました。

工業俱楽部の「異業種交流による新たな発想でのものづくり」の考え方とは、今日の社会が抱える様々な課題を解決する手法のヒントになると考えています。
引き続き、よろしくお願ひします。

会員名

歌枕 歩
ACTA DESIGN WORKS
(アクタデザインワークス)



- 住 所 〒899-2506 日置市伊集院町清藤1514
- T E L 090-5284-1598

鹿児島県工業俱楽部に入会させていただき、ありがとうございます!ロゴ制作、各種印刷物制作から、ブランドWEBサイト制作、通販ホームページ制作まで、お客様のご要望に合わせた、あらゆる販売促進ツールをご提案しております。

ACTA DESIGN WORKSを立ち上げるまでは、大阪の制作会社にて、小規模なものから企業、病院などのホームページ制作、印刷物の制作を多く手掛けてきました。故郷鹿児島の素晴らしい商品やサービスを、全国に!世界に!発信するサポートをしていきたいと考えております。

どうぞ宜しくお願ひいたします。

会員名

大重 龍三
薩摩藩古民家 カレーテリア沙羅



- 住 所 〒891-1105 鹿児島市郡山町2292
- T E L 099-298-3866

入会させていただきありがとうございます。

カレーテリア沙羅は、平成23年9月に、天文館から郡山に移転し、薩摩藩古民家 カレーテリア沙羅として再出発しました。現在2つのプロジェクトを推進中

1. 「カレーアイランド九州構想」は、カレーで九州の地域創生を図る。
2. 「郡山グローバル教育特区構想」は、2022年郡山の小・中・高は全国で唯一、各科目を日本語又は英語で授業を行う。

どうぞよろしくお願ひいたします。

地域の未来を創る、次代を担う若手経営者・後継者紹介 -1

先達の開拓精神や生業を通して的好奇心が今を創り、その姿を通して、新しい物づくりへまた挑む日々!

そんな気概のあるお話しを今回文字に表現できない程賜りました。

辛酸・苦惱・光明、涙とたくさんの汗。一層の飛躍・成長を託して次の代へ。



小城製粉株式会社

代表取締役社長 能勢 勝哉 (38歳)

当社は昭和22年(1947年)創業以来、毎日「ていねい」を繰り返してきた老舗製粉会社です。また、世界初の米粉100%にこだわった製粉及び加工・応用技術を日夜研究し、米粉100%のパンやパイが焼ける技術を開発。小麦アレルギーに対応するとともに、グルテンフリーのマーケットへの参入も視野に入れています。そして日本食糧新聞社制定の「第28回新技術・食品開発賞」を平成26年度受賞、海外からも注目される中、米国やドイツへの輸出

も始まりました。

本社敷地内にある和菓子店「のせ菓樂」も米粉菓子専門店に転換し、アレルギーでお困りの方に大好評をいただいております。

縁を大切に今後は人にやさしい商品づくりを目指し、更にセグメントして技術を深めながら、様々な企業や農家とのコラボレーションを実現し、日本の食の未来を背負う覚悟で精進し、“本物だから続く”企業でありたいと思っております。



米粉 100% のノングルテンパン



昭和47年に吸収合併した「のせ菓樂」



取締役会長 小城 年久 (68歳)

小城製粉株式会社

〒895-0041 薩摩川内市隈之城1892
TEL 0996-22-4161 FAX 0996-20-3973
HP URL <http://kojoseifun.co.jp>
MAIL kojos@mocha.ocn.ne.jp

【受賞歴】

- | | |
|--------------|---------------------------------|
| 昭和 58 年 10 月 | 厚生大臣賞受賞 |
| 昭和 63 年 10 月 | 知事賞受賞(さつまの香里) |
| 昭和 63 年 11 月 | 農林水産省食品流通局長賞受賞(山芋加工技術) |
| 平成 元 年 5 月 | 第 21 回全国菓子大博覧会／食糧庁長官賞受賞 (かるかん粉) |
| 平成 10 年 1 月 | 全国さつまいも食品コンクール／最優秀知事賞受賞 (薩摩一番) |
| 平成 10 年 11 月 | 農林水産省食品流通局長賞受賞 |
| 平成 16 年 1 月 | 山芋加工場 ISO 取得 |
| 平成 24 年 11 月 | 第1回そうしんビジネスイノベーション大賞受賞 |
| 平成 26 年 2 月 | 日本食糧新聞社「新技術・食品開発賞」受賞 |
| 平成 27 年 11 月 | NHK「サキどり」にて全国放送 |

「食と健康に関するシンポジウム」開催

包括連携協力協定を結んでいる鹿児島大学と、今年度で五回目となる同シンポジウムを、11月30日(月)に鹿児島大学稻盛会館で開催し、約200名が来場しました。「～ぐるっと鹿児島～食の革新で変える 農業・畜産・漁業・工業～」をテーマに、鹿児島における食品、農林水産物の新たな可能性を探るために、「さつま黒膳」「薩摩黒鴨」「芋焼酎の香り革命」など幅広い分野からの研究発表を行いました。

トピックス



地域の未来を創る、次代を担う若手経営者・後継者紹介 - 2

宇都酒造(株) 四代目杜氏 宇都 尋智 (33歳)

当社は、創業明治36年から焼酎製造を行っております。代表銘柄は白麹で造られる端麗な味に仕上げた「天文館」と黒麹で造られる初代から続く「金峰」を主軸に種類は少なくとも丁寧な仕込みで地元に根付いた焼酎の製造・販売を行っております。創業者の宇都伊勢太郎から三代目の宇都建夫が現社長で、四代目宇都尋智が「自分の酒を造りたい」と、焼酎製造の責任者として杜氏をしております。

「安いから売れる」のではなく、「少し高いけど、すごく旨い」焼酎造りを目標に、しっかりと鹿児島文化に根付いた焼酎を全国に発信していきたいと思います。

芋焼酎と一口に言っても、原料である芋の品種はいくつもありますので、美味しくて多様な味わいを持つ、南薩摩をイメージできるような焼酎を作り、たくさんのお客様の笑顔を集めたいと考えております。



代表取締役社長 宇都 建夫



宇都酒造株式会社

〒897-1125 南さつま市加世田益山2431

TEL 0993-53-2260 FAX 0993-52-8882

「逆ラボツアー」を2回開催

第1回

7月23日（木）に、アルパック九州（株）本社工場で、「真空と産業の関わり」をテーマに開催しました。21名が参加し、クリーンルーム内で、真空装置の部品設計・加工の工夫、真空ポンプの原理と最新技術等について学びました。

第2回

11月24日（火）に、日本澱粉工業（株）で、「人材育成」をテーマに開催しました。26名が参加し、社員教育の場である「白眉実践塾」で、ボルト締結原理・振動診断・電気の見える化デモ研修等について学びました。



トピックス

ALPAC KAGOSHIMA CORPORATION

鹿児島県工業奨業部
活動活動 逆ラボツアー記念写真

アルパック九州株式会社 クリーンルーム

平成27年7月23日

